



## 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月2日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社トラスト

コード番号 3347 URL <http://www.trust-ltd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 伊藤 誠英

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 長谷川 克彦

TEL 052-219-9058

四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日

配当支払開始予定日

平成24年12月12日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	6,357	34.1	508	27.8	472	25.6	177	37.0
24年3月期第2四半期	4,742	31.9	398	△7.5	376	△6.5	129	△3.8

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 281百万円 (45.5%) 24年3月期第2四半期 193百万円 (△14.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	684.73	—
24年3月期第2四半期	499.66	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	14,329	4,397	26.6	14,721.23
24年3月期	14,528	4,141	25.2	14,148.25

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 3,809百万円 24年3月期 3,661百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	100.00	—	100.00	200.00
25年3月期	—	100.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	100.00	200.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,940	23.9	1,181	30.5	1,070	26.6	388	43.1	1,501.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	281,500 株	24年3月期	281,500 株
25年3月期2Q	22,731 株	24年3月期	22,731 株
25年3月期2Q	258,769 株	24年3月期2Q	258,769 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中でありませ

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	4
4. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
(6) セグメント情報等 .....	10
(7) 重要な後発事象 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要やエコカー補助金による個人消費の増加により、景気に緩やかな回復の兆しがみられたものの、長期化する円高や欧州債務危機などから先行きは不透明な状況となっております。

このような状況のなか、当社グループは、中核事業であり海外市場をターゲットとしている中古車輸出事業、国内で為替リスクなく安定的な成長を続けるレンタカー事業、成長著しい南アフリカにて海外自動車ディーラー事業の3つの事業を行っており、安定的で収益力のある事業体の構築を目指しております。また、レンタカー事業のレンタル車輻及び海外自動車ディーラー事業の中古車在庫を、中古車輸出事業のWEBサイトを通じて販売するなど、グループシナジーを創出しております。

その結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高6,357百万円(前年同期比34.1%増)、営業利益508百万円(前年同期比27.8%増)、経常利益472百万円(前年同期比25.6%増)、四半期純利益177百万円(前年同期比37.0%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### (中古車輸出事業)

中古車輸出業界全体では、海外の旺盛な需要により輸出台数は好調に推移しております。利益面では、為替レートが円高水準で高止まりし収益を圧迫しているものの、エコカー補助金が再導入され9月に終了までの間は、新車販売が活況となり、下取り車の供給量が増加したことにより、仕入コストの抑制につながり、業界全体の景況感は回復しつつあります。

このような状況のなか、当社グループは、アフリカ地域において、沿岸主要港から内陸主要都市への中古車陸送を代行手配するサービス、また現地エージェントとの提携により対面でのアフターサービスを行うカスタマーサービスセンターを強化し、顧客満足度の向上に努めました。

当社グループの輸出台数は、オセアニア地域及び規制緩和のあった一部のアジア地域が増加し、その他地域においても堅調に推移したため、合計3,996台(前年同期比16.1%増)となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高2,313百万円(前年同期比13.8%増)、営業利益113百万円(前年同期比104.1%増)となりました。

#### (レンタカー事業)

レンタカー業界全体では、行楽シーズンが好天に恵まれたことにより個人需要が好調に推移し、また、レンタカー需要の高まりを受け事業者及び登録台数ともに増加しております。

このような状況のなか、当社グループは、WEBサイトのリニューアルにより予約機能を向上し、TVCMを継続的に放映することにより個人顧客の獲得に注力いたしました。また、直営店の蕨店(埼玉県)、関店(岐阜県)、FC店の甲斐店(山梨県)、小山喜沢店(栃木県)を新規出店し、直営店及びFC店の総店舗数は98店、総保有台数は9,996台(前年同期比14.6%増)となりました。さらに、車輛の販売台数は417台(前年同期比19.1%増)となり好調に推移いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高2,715百万円(前年同期比11.6%増)、営業利益389百万円(前年同期比6.6%増)となりました。

#### (海外自動車ディーラー事業)

南アフリカ共和国の新車販売台数は、旺盛な個人消費のもと2桁成長で推移しております。

このような状況のなか、当社グループは、南アフリカ共和国の首都プレトリア市においてプジョーディーラー1店舗、ヨハネスブルグ市においてスズキディーラー2店舗、ケープタウン市近郊においてフィアット・アルファロメオディーラー1店舗、スズキディーラー1店舗の合計5店舗を運営しております。新車販売台数は合計344台(前年同期比258.3%増、内訳：プジョー82台、フィアット43台、アルファロメオ11台、スズキ208台)、中古車販売台数は合計595台(前年同期比391.7%増)と順調に推移しております。現在、親会社であり自動車ディーラー再生のノウハウを持つVTホールディングス株式会社の協力のもと、全店舗黒字化に向けて経営改善を行っております。

その結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高1,437百万円(前年同期比269.0%増)、営業利益6百万円(前年同期は23百万円の営業損失)となりました。

※スズキディーラーを運営する、SKY ABSOLUT AUTO (PROPRIETARY) LIMITEDの前連結会計年度の連結対象期間は、平成23年10月1日から平成24年3月31日であります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて4.0%減少し、6,495百万円となりました。これは、現金及び預金が329百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1.0%増加し、7,833百万円となりました。これは、リース資産(純額)が17百万円増加したことなどによります。

その結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて1.4%減少し、14,329百万円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて2.7%減少し、7,685百万円となりました。これは、短期借入金が127百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて9.8%減少し、2,246百万円となりました。これは、長期借入金が133百万円、リース債務が96百万円減少したことなどによります。

③ 純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べて6.2%増加し、4,397百万円となりました。

④ キャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ329百万円減少し、592百万円となりました。なお、当第2四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、営業活動の結果獲得した資金は1,170百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益471百万円、減価償却費932百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、投資活動の結果使用した資金は300百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出275百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、財務活動の結果使用した資金は1,200百万円となりました。これは主にリース債務の返済による支出885百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

中古車輸出事業につきましては、継続的に各国の現地エージェントとの新規提携を推進し、現地でのアフターサービスの充実を図り、売上の拡大及び顧客満足度の向上に努めてまいります。

レンタカー事業につきましては、平成24年12月には埼玉県で2店舗目となる直営店を新規出店し、今後も直営・F C両面で新規出店し全国展開を目指してまいります。

海外自動車ディーラー事業につきましては、既存店舗の収益改善を継続的に行い売上の拡大及び利益率の向上を図ってまいります。

なお、平成24年5月10日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はございません。今後、何らかの変化がある場合は適切に開示してまいります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計方針の変更  
(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる影響額は軽微であります。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 四半期連結財務諸表  
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	922,568	592,633
受取手形及び売掛金	814,387	820,391
リース債権及びリース投資資産	3,498,519	3,524,397
商品及び製品	994,671	975,190
仕掛品	507	1,410
原材料及び貯蔵品	12,352	12,940
その他	536,080	580,181
貸倒引当金	△10,628	△11,186
流動資産合計	6,768,459	6,495,960
固定資産		
有形固定資産		
リース資産（純額）	3,320,258	3,337,613
土地	2,846,640	2,846,640
その他（純額）	890,132	961,708
有形固定資産合計	7,057,032	7,145,962
無形固定資産		
のれん	125,166	118,603
その他	112,876	109,889
無形固定資産合計	238,042	228,493
投資その他の資産		
その他	491,364	486,668
貸倒引当金	△26,655	△27,396
投資その他の資産合計	464,708	459,271
固定資産合計	7,759,784	7,833,727
資産合計	14,528,243	14,329,687
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	624,037	563,755
短期借入金	1,094,600	967,000
1年内返済予定の長期借入金	290,684	278,358
1年内償還予定の社債	30,000	30,000
リース債務	4,967,111	5,081,924
未払法人税等	194,894	182,653
賞与引当金	63,367	59,073
資産除去債務	254	—
その他	631,345	522,684
流動負債合計	7,896,295	7,685,449
固定負債		
社債	80,000	65,000
長期借入金	395,976	262,560
リース債務	1,990,361	1,894,135
役員退職慰労引当金	4,616	5,426
資産除去債務	11,170	11,267
その他	7,831	8,062
固定負債合計	2,489,955	2,246,450
負債合計	10,386,251	9,931,900

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,349,000	1,349,000
資本剰余金	1,174,800	1,174,800
利益剰余金	1,752,958	1,904,269
自己株式	△618,209	△618,209
株主資本合計	3,658,549	3,809,860
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,243	4,218
為替換算調整勘定	△663	△4,679
その他の包括利益累計額合計	2,579	△460
少数株主持分	480,863	588,387
純資産合計	4,141,992	4,397,787
負債純資産合計	14,528,243	14,329,687



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	4,742,468	6,357,756
売上原価	3,211,290	4,519,968
売上総利益	1,531,177	1,837,787
販売費及び一般管理費	1,133,040	1,328,895
営業利益	398,137	508,892
営業外収益		
受取利息	1,521	2,260
受取配当金	4,640	4,057
為替差益	4,678	—
貸倒引当金戻入額	9,111	—
補助金収入	—	26,211
その他	12,390	11,297
営業外収益合計	32,342	43,826
営業外費用		
支払利息	45,230	53,096
為替差損	—	16,793
その他	8,805	10,095
営業外費用合計	54,035	79,985
経常利益	376,443	472,732
特別利益		
助成金収入	2,693	2,661
貸倒引当金戻入額	2,784	231
特別利益合計	5,477	2,892
特別損失		
固定資産売却損	214	—
固定資産除却損	—	2,854
投資有価証券償還損	—	814
投資有価証券評価損	531	101
貸倒損失	527	—
その他	—	99
特別損失合計	1,273	3,868
税金等調整前四半期純利益	380,647	471,756
法人税、住民税及び事業税	140,833	181,024
法人税等調整額	31,325	2,363
法人税等合計	172,158	183,387
少数株主損益調整前四半期純利益	208,489	288,369
少数株主利益	79,190	111,180
四半期純利益	129,298	177,188

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	208,489	288,369
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,629	1,003
為替換算調整勘定	△4,229	△7,700
その他の包括利益合計	△14,859	△6,697
四半期包括利益	193,629	281,671
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	115,329	174,147
少数株主に係る四半期包括利益	78,300	107,523

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	380,647	471,756
減価償却費	747,654	932,669
のれん償却額	2,999	3,285
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△22,743	1,298
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△8,334	△4,294
受取利息及び受取配当金	△6,162	△6,317
支払利息	45,230	53,096
為替差損益 (△は益)	3,655	3,496
投資有価証券評価損益 (△は益)	531	101
投資有価証券償還損益 (△は益)	—	814
固定資産売却損益 (△は益)	214	—
固定資産除却損	—	2,854
売上債権の増減額 (△は増加)	△8,201	△17,530
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△85,592	△3,013
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△42,890	△80,255
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	△28,213	10,865
仕入債務の増減額 (△は減少)	43,013	△7,019
未払消費税等の増減額 (△は減少)	70,664	△2,383
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	58,480	64,457
その他	827	651
小計	1,151,781	1,424,532
利息及び配当金の受取額	7,035	6,704
利息の支払額	△47,677	△52,038
法人税等の支払額	△221,631	△208,549
営業活動によるキャッシュ・フロー	889,508	1,170,649
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△113,599	△275,235
有形固定資産の売却による収入	8	221
無形固定資産の取得による支出	△52,905	△19,994
子会社株式の売却による収入	10,200	—
投資有価証券の償還による収入	—	6,117
貸付けによる支出	△42,407	△9,637
貸付金の回収による収入	9,245	10,873
敷金及び保証金の差入による支出	△3,634	△15,334
敷金及び保証金の回収による収入	3,241	2,910
その他	△1,397	△430
投資活動によるキャッシュ・フロー	△191,249	△300,509
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	85,989	△127,600
長期借入れによる収入	50,000	—
長期借入金の返済による支出	△188,142	△145,742
社債の償還による支出	△15,000	△15,000
リース債務の返済による支出	△642,572	△885,940
配当金の支払額	△25,940	△25,916
少数株主からの払込みによる収入	5,928	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△729,737	△1,200,198
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,218	124
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△32,697	△329,934
現金及び現金同等物の期首残高	849,118	922,568
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	7,495	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	823,916	592,633

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	中古車輸出 事業	レンタカー 事業	海外自動車 ディーラー 事業(注) 1			
売上高						
外部顧客への売上高	2,015,894	2,336,952	389,621	4,742,468	—	4,742,468
セグメント間の 内部売上高又は振替高	17,163	97,414	—	114,578	△114,578	—
計	2,033,058	2,434,366	389,621	4,857,047	△114,578	4,742,468
セグメント利益又は損失(△)	55,371	365,966	△23,798	397,539	597	398,137

(注) 1. 第1四半期連結会計期間より、子会社であるTRUST ABSOLUT AUTO (PROPRIETARY) LIMITEDを新たに連結の範囲に含めたため、海外自動車ディーラー事業が追加となりました。

2. セグメント利益又は損失の調整額597千円には、のれん償却額△2,999千円、棚卸資産の調整額3,597千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	中古車輸出 事業	レンタカー 事業	海外自動車 ディーラー 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	2,311,019	2,626,170	1,420,566	6,357,756	—	6,357,756
セグメント間の 内部売上高又は振替高	2,487	89,590	17,041	109,119	△109,119	—
計	2,313,506	2,715,761	1,437,608	6,466,875	△109,119	6,357,756
セグメント利益	113,030	389,992	6,336	509,359	△467	508,892

(注) 1. セグメント利益の調整額△467千円には、のれん償却額△3,285千円、棚卸資産の調整額2,585千円、その他の調整額231千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。